

A (国語)

採点基準

「採点基準」で処理できない場合は、各校の統一見解で採点されたい。

14点 3			12点 2				8点 1				問題	配点	正答例	備考
(三)	(二)	(一)	(五)	(四)	(三)	(二)	(一)							
二点	二点	二点	四点	二点	二点	二点	二点					八点		
エ	イ		クジラの体温と北極や南極の海水の温度。	北斗は、八海ラリーを走って、自分が一日に百キロくらい走れるはずだと分かっていたし、父さんが昔、自転車で日本海を目指して道に迷ったときに、北斗七星を道しるべにしてゴールできたことから北斗と名付けたという話が頭の中で膨らんで、自転車で宇宙までの距離と同じ百キロを走りたかったから。	北斗の方から約束すると口にしたことはなかったので、意外性がある点。 (三十三字)	ア	イ	ウ					① けんきよ(な) ② ひろう	* 各一点。
									③ たずさ(わる) ④ おだ(やかな)	⑤ 演奏 ⑥ 清潔(に)	⑦ 届(く) ⑧ 浴(びる)			* 文章の展開に即して登場人物の心情を読み取り、的確にまとめる力を見る問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。 ・このセリフが父さんを説得するのに効果があると北斗が考えた点を的確にとらえているか。 ・本文中の言葉を使って、的確にまとめているか。 * 同様の趣旨であればよい。 * 字数の不足・超過については一点を減ずる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方等)が二か所以上あるものは一点を減ずる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方等)が二か所あるものは一点を減ずる。 三か所以上あるものは二点を減ずる。 * 部分点可。
														* 文章の展開に即して内容をとらえ、的確にまとめる力を見る問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。 ・「このような温度差」が何と何を比べたものかを的確にとらえているか。 ・本文中の言葉を使って、的確にまとめているか。 * 同様の趣旨であればよい。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方等)が二か所以上あるものは一点を減ずる。 * 部分点可。

合計 五十点	6点		4点		6点		4点		(四)
	6	5	(二)	(一)	(三)	(二)	(一)	(六)	
	六点	二点	二点	二点	二点	二点	二点	二点	三点
	<p>(例一) 私が世界の人々と共に考えたいことは、地球温暖化についてです。なぜなら、これは地球全体にかかわる課題だからです。温暖化に最も影響を及ぼしているといわれる二酸化炭素は、石油や石炭などを燃やすときに大量に発生します。つまり、温暖化は、自動車に乗ったり、電気を使うことと密接に関係しているのです。私は、世界の人々などこの問題に取り組むことが重要だと思います。 (百九十六字)</p>	<p>ウ</p>	<p>エ</p>	<p>エ</p>	<p>③</p>	<p>(用) いるに</p>	<p>ウ</p>	<p>脂肪の層が極端に薄く、動脈の周りを数本の細い静脈が取り囲む特殊な形態の血管が、網の目のように多数走っているという特徴。 (五十九字)</p>	<p>クジラは、紡錘形の体型、呼吸の回数のお少な、厚い脂皮という冷たい海で体温を保持できるメカニズムを備えているということ。 (五十九字)</p>
	200	100	200	100					
	<p>* 文章の展開に即して内容をとらえ、的確にまとめる力をみる問題である。以下のような観点に基づいて採点された。 ・「これまでに説明してきたこと」とは、クジラが体温を保持できるメカニズムを備えていることだとの確に与らえているか。 ・クジラが備えているメカニズムを具体的に挙げているか。 ・本文中の言葉を使って、的確にまとめているか。 * 同様の趣旨であればよい。 * 字数の不足・超過については一点を減ずる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方等)が二か所以上あるものは一点を減ずる。 * 部分点可。</p>	<p>* 文章の展開に即して内容をとらえ、的確にまとめる力をみる問題である。以下のような観点に基づいて採点された。 ・「世界の人々と共に考えたいこと」として、取り上げた理由を明確に書いているか。 ・取り上げたことに対する考えや意見を明確に書いているか。 ・自分の考えが相手に的確に伝わるように、論理的に書き表しているか。 * 出題の趣旨に合っていればよい。 * 字数の不足・超過については、二十字以内の場合是一点、二十字を超える場合は二点を減ずる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方、原稿用紙の使い方等)が二か所あるものは一点を減ずる。三か所以上あるものは二点を減ずる。 * 部分点可。</p>							